

米原市保幼小中学校統合整備計画

～よりよい教育環境を目指して～

平成23年3月
米原市教育委員会

目 次

はじめに

I 米原市の目指す学校（園）の姿と現状および課題

1. 米原市保育・教育の指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 米原市保育の指針
 - (2) 米原市学校教育の指針
 - (3) 全校園における重点取組み
2. 米原市保育・教育の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (1) 保育園・幼稚園の現状と課題
 - (2) 小学校・中学校の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 米原市保幼小中学校統合整備計画

1. 整備計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 整備計画策定にあたっての基本的な考え方
 - (1) 基準とすべき幼児・児童・生徒数
 - (2) 既存施設の有効利用
 - (3) 整備計画の期間
 - (4) 整備計画の見直し期間
3. 具体的な整備計画
 - (1) 保育園・幼稚園の計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (2) 小学校の計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (3) 中学校の計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4. 整備にあたっての留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5. 整備等の全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

《資料》

1. 平成22年度 市内保育園・幼稚園の乳幼児数・・・・・・・・・・・・ 12
2. 小・中学校児童生徒数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
3. 公立保育園、幼稚園、小・中学校の施設の設置状況・・・・・・・・ 14

はじめに

今日、社会情勢の変化が激しい中、心豊かでたくましく、自らの未来を切り拓いていく力、いわゆる「生きる力」を身につけた子どもを育成することは、教育における大きな命題であります。これを実現するために、保育・教育の環境整備を行っていくことは行政の責務でもあります。こういった中、全国的な傾向である少子化が、米原市においても今後一層顕著になり、望ましい保育・教育の在り方の検討とその具体的な施策の実施が、今大きな課題となっています。

このような状況を踏まえ、米原市では就学前の保育・教育に関して、平成17年の合併後、「米原市における保育の在り方に関する検討委員会」を設置し、旧町ごとの保育体制の違いや子育てに不安のある保護者の増加など、子どもと家庭を取り巻く様々な課題について検討を行い、「幼保一元化」の理念の基、望ましい保育体制の整備を図ってきました。また、平成19年4月には、滋賀県初の保育園と幼稚園の一体化施設、「いぶき認定こども園」を設置し、幼保一元化の先進的な取組みを行ってきたところです。

一方、小・中学校においても今後の少子化が、様々な教育活動や子どもの成長に大きな影響を及ぼすことが懸念されることから、平成17年12月から「米原市立幼稚園および小・中学校の在り方に関する検討委員会」を立ち上げ、主に小・中学校の今後について検討していただき、平成22年3月にその最終報告を受けたところです。

今回、こういった保育や教育の課題に対応するために、先の各種検討委員会の報告を基にして、米原市としての保育および教育の環境整備にかかる全体計画を策定しました。今後、子どもたちのより望ましい保育・教育の環境の整備に向けて、この計画の実現に鋭意努力してまいります。

米原市教育委員会 教育長 瀬戸川 恒雄

I 米原市の目指す学校（園）の姿と現状および課題

1. 米原市保育・教育の指針

米原市教育委員会は、目指すべき保育および教育の方向性を長期的なビジョンに立って定めた「米原市保育の指針」、「米原市学校教育の指針」を策定し、この指針に沿って日々の保育・教育を推進しています。

(1) 米原市保育の指針

幼保一元化による保育の充実

この方針を基に、主に次の3点を基本理念として、日々の保育・教育の推進を図っています。

- ①「子どもの最善の利益」を第一に考えながら、養護と教育が一体となった保育を行い、豊かな人間性を持った子どもを育てる。
- ②子どもの主体的な活動を促すとともに、就学前の子どもの育ちを一貫して支える視点を大切にされた保育を実践する。
- ③子育てに喜びが感じられる支援など、家庭教育力の向上を目指した子育て支援の充実を図る。

また、保育目標を「健やかでたくましい米原の子どもの育成」と定め、「大人との基本的な信頼関係の形成」を保育推進の重点に位置づけて保育の充実を図っています。

(2) 米原市学校教育の指針

知・徳・体の調和のとれた米原の子どもの育成（米原っ子に「生きる力」を）

この教育の方針を基に、学校教育推進の基本として次の3項目を定め、日々の教育の推進を図っています。

- ①「人間力」をはぐくむ教育の充実
- ②一人ひとりに確かな学力をはぐくむ教育の充実
- ③地域に根ざした信頼される学校づくりの推進

(3) 全校園における重点取組み

特に平成20年度からは、米原市の特色ある教育として、次の三つの事業について全校園で取り組んでいます。

- ・みんなで伊吹山に登ろう
- ・みんなで本を読もう
- ・みんなでふるさとを描こう

2. 米原市保育・教育の現状と課題

こういった保育や教育の指針に基づいて、日々の活動を推進し、その充実を図っているところですが、今日の社会情勢や子どもを取り巻く様々な環境の変化に伴い、いくつかの課題が浮き彫りになりつつあります。

(1) 保育園・幼稚園の現状と課題

【現状】

- ・ 米原市には公立幼稚園が4園、認定こども園が1園、公立保育所が5園、民間保育所が4園、公設民営保育所が1園あります。
- ・ 保育園への就園では、近年1～2歳児が増加するなど、年々低年齢児の保育のニーズが高くなってきています。
- ・ 保護者の就労や産休・育休などにより、年度途中の入退園が増加傾向にあり、今後も続くものと思われます。
- ・ 幼稚園において3年保育が実施されたことにより、市内在住の3歳児の約90%が保育園、幼稚園のいずれかに入園しています。
- ・ 市内全体の少子化が進行するとともに、少子化が地域に偏在化している状況があります。こういった中、同年齢の幼児が10人以下となり、子どもの集団が小規模化している園があります。
- ・ 近年、核家族化や共働き家庭の増加等から、広域入所（米原市外の保育所への入園）の希望者が増えつつあります。また、他市町からの入所児もほぼ同数です。

《施設・設備の現状》

- ・ 公立園では築30年を経過した施設が3園あり、老朽化が進行しています。
- ・ 宅地開発に伴う、園児数の増加や低年齢児保育の希望者の増加により、保育室が不足したり、調乳室およびトイレ等の改修が必要になったりしている園があります。
- ・ 教材庫、子育て支援室、相談室および会議室が未整備な園や送迎用・職員用駐車場の拡大が必要な園があります。

【課題】

- ・ 園児数の多少が課題となっている保育園・幼稚園において、望ましい保育環境をどのように整備していくかの検討とその実施が求められています。
- ・ 安全面や適切な保育環境の確保の観点から、既存の施設・設備を見直すことが必要です。

(2) 小学校・中学校の現状と課題

【現状】

- ・ 米原市には12校の小学校、7校の中学校があります。
- ・ 市内小学校の7校、中学校の2校では、平成22年度において全ての学年が1クラスという状況です。
- ・ 平成22年10月現在、東草野小学校、山東東小学校、東草野中学校において、一部の学年が複式学級になっています。
- ・ 現状において、小学校では平成22年度と比べて平成27年度（現在の1歳児が入学）には、児童数が約430人、中学校では平成33年度（現在の1歳児が入学）には、生徒数が約350人減少することが見込まれます。
- ・ 生徒数の減少から教員数も少なくなり、適切な部活動が設置できず、選択幅が限られている中学校があります。

【課題】

- ・ 少人数指導の良さや、その教育効果に期待できる要素は多々ありますが、少人数化が進むことによって、学校の活力の低下、児童生徒の社会性やコミュニケーション能力の育成への影響、教員の減少による管理・指導体制の弱体化、とりわけ中学校における教科指導への影響などが課題となります。
- ・ 少子化の進行により、互いに切磋琢磨する力や社会性の育成、学びや遊び環境の多様性、男女比の適切化、授業内容の広がりなどにおいて、望ましい教育効果が得られないことが懸念されます。
- ・ 今後の少子化にともない、望ましい教育環境の整備についての検討と実施が望まれています。

II 米原市保幼小中学校統合整備計画

米原市教育委員会は、先述の保育園、幼稚園、小・中学校の現状と課題をふまえ、今後の在り方を検討すべく、平成17年度に「米原市立幼稚園および小・中学校の今後の在り方に関する検討委員会」（以後「在り方検」とする）を設置し、平成22年3月にその最終報告を受けました。この「在り方検」においては、より望ましい保育・教育環境の整備のために、適切な集団規模や統廃合などについて検討を行っていただきました。

今回、この「在り方検」の報告をふまえ、今後の市内保育園、幼稚園、小・中学校に係る整備計画を策定するものです。

1. 整備計画の目的

米原市民の保育・教育に対する期待に応え、乳幼児、児童、生徒の未来を拓く、生きる力を育むために、保育および教育に係る統合等の環境整備を行うことを目的とします。

2. 整備計画策定にあたっての基本的な考え方

(1) 基準とすべき幼児・児童・生徒数

子どもの成長や発達に応じた適切な集団構成について、次の指針を基に計画をたてます。

保育園・幼稚園

【乳児】

- ・ 0歳児は3人に対して1人の保育士、1～2歳児は6人に対して1人の保育士が望ましい。

【幼児の学級編制】

- ・ 3歳児は1学級20人以内が望ましい。
- ・ 4・5歳児は1学級30人以内が望ましい。ただし、それぞれの年齢で少なくとも10人以上の在籍が必要である。

【施設の規模】

- ・ 同年齢は複数学級であることが望ましい。

小・中学校

- ・ 小中学校ともに1学級には18人以上の児童生徒が在籍し、1学年が複数学級で編制される規模が望ましい。ただし、米原市の現状から、小学校は1学年単学級編成としても18人～35人程度が在籍していること。
- ・ 中学校は1学年複数学級で編制できることが望ましい規模である。

(2) 既存施設の有効利用

今後の人口推移や市の財政状況を考慮し、統廃合に伴う既存施設の有効利用を検討します。

(3) 整備計画の期間

- ・ 短期計画 : おおむね平成23年度～平成27年度までの3～5年間とする。
- ・ 中・長期計画 : おおむね平成23年度～平成32年度までの10年間とする。

(4) 整備計画の見直し期間

本整備計画は、策定後5年を経た時点において、進捗状況をふまえて見直しを行います。また、国の制度の動向や市の財政状況など必要に応じて、適宜見直しを行います。

3. 具体的な整備計画

(1) 保育園・幼稚園の計画

【 息郷保育園 醒井幼稚園 】 短期計画

整備方針	統合							
整備形態	認定こども園とする							
施設	統合後の息郷小学校を改修し使用する							
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28以降
スケジュール		← 検討 開始				→ 統合		

息郷保育園は近年定員に対する在籍率が60%前後で推移しており、今後の少子化によりさらに在籍が減少することが予測されます。醒井幼稚園は3歳児～5歳児全てにおいて園児数が10人以下であり、望ましい保育の展開の面から大きな課題があります。また、両園とも施設が築30年を経過し、老朽化が進んでいることから施設設備面での対応が必要です。こういった状況から両園を認定こども園として統合します。

【 米原西保育園 米原中保育園 】 短期計画

整備方針	統合							
整備形態	米原西保育園を米原中保育園に統合する							
施設	園舎については増改築を含めて検討する							
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28以降
スケジュール			← 統合 準備	→ 統合 改築 検討				

米原西保育園は近年、定員に対する在籍率は20%前後と園児数が少なく、集団保育の効果が期待できない状況にあります。米原中保育園も近年緩やかに入園児数が減少していますが、早朝保育・長時間保育、低年齢児保育の要望が高く、また米原駅周辺に位置することから、遠距離通勤の保護者の利便性の高い保育園でもあります。こういったことから、米原西保育園を米原中保育園に統合します。

【 米原保育園 】 短期計画

整備方針	継続検討							
年 度	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
スケジュール				←————→				
				検討 開始				

米原保育園は現在指定管理者が運営しています。休日保育を始め、一時預かり事業や延長保育、途中入所の積極的な受け入れを行うなど地域の保育ニーズに対応し、徐々に園児数が増加しています。しかし、園児数の6割以上が地域外（広域入所、近江・山東地域より）から通園しています。今後は米原中保育園の改築の検討を行う中で、米原保育園の在り方についても検討していきます。

【 近江にし保育園 近江ひがし保育園 ふたば幼稚園 】 短期計画

整備方針	統合							
整備形態	認定こども園とする							
施 設	園舎については増改築等を含めて検討する							
年 度	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
スケジュール		←————→						
		検討 開始				統合		

住宅開発の影響で同じ近江地域でも乳幼児数が偏在しています。多様な保育ニーズへの期待が高い地域ですが、現状の施設では延長保育や一時預かり事業など、地域の多様な保育ニーズへの対応が困難です。そのため、市外の保育所への広域入所が多い現状であり、施設に余裕がないため、未就園児家庭への子育て支援事業等の実施にも課題があります。

近江にし保育園は施設の狭さもあり、恒常的に定員超過の状況にあります。近江ひがし保育園は近年幼児数が10人未満の学級があり、集団が小規模化していますが、低年齢児は増加傾向にあります。ふたば幼稚園は3歳児の保育室が不足しているなど、改善を要する課題があります。こういった状況から、3園を統合して新たに認定こども園をつくり、乳児部および幼児部に分けて施設の整備を行います。

【 長岡保育園 大原保育園 柏原保育園 山東幼稚園 】

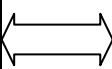
【 いぶき認定こども園 醒井保育園 米原幼稚園 】

整備方針	現状維持
------	------

- ・ 長岡保育園、大原保育園、柏原保育園は定員の弾力化を適用した運営がなされ、4月当初から定員の100%を超える年度もあります。近年は少子化により減少傾向にあるものの、途中入所が多いことから、充足率に大きな変動はありません。
- ・ 山東幼稚園は地域の幼稚園教育を本園で担っています。同年齢の幼児は複数の学級を編制し、子どもの育ちに必要な集団規模は確保されています。
- ・ いぶき認定こども園は少子化が顕著に進んでいる伊吹地域において、集団の確保、保育・教育の一体的な提供を目的として、平成19年4月に開園しました。今日まで子どもの成長や発達に必要な集団が構成でき、豊かな体験活動の展開が可能となっています。
- ・ 醒井保育園は延長保育や休日保育など多様な保育サービスを実施し、地域外から通う園児が多く、外国籍を含む市外乳幼児の在園も多い園です。発達に必要な集団が構成でき、様々な体験活動の展開が可能となっていることから現状維持とします。
- ・ 米原幼稚園は適切な集団規模が確保できており、米原地域の幼稚園としてその教育を担っています。

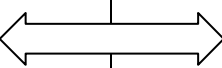
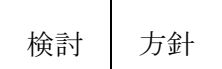
(2) 小学校の計画

【 山東東小学校 山東西小学校 】 短期計画

整備方針	統合							
整備形態	両校を統合し、山東小学校を新設する							
施設	山東西小学校を使用する							
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28以降
スケジュール		 統合 準備	統合					

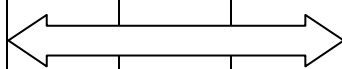

山東東小学校と山東西小学校については、特に山東東小学校の少子化が進行していくことから、望ましい教育環境を整備するために、平成23年4月から両校を統合し、新設校としてスタートします。

【東草野小学校】 短期計画

整備方針	継続検討							
年 度	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
スケジュール			 検討 開始		 方針 決定			

東草野小学校については現在および今後とも児童数が極小人数で推移していきます。こういったことから学校の存続について数年来、保護者懇談会や地域懇談会を開催し検討を重ねてきました。この課題について「在り方検」においては地域性を考慮した上で、「平成24年度までは存続し、平成24年5月1日の次年度以降の児童数推計によって、今後の在り方を決定する。統合する場合は伊吹小学校と統合する。」との報告がなされています。今回の整備計画策定にあたっては、この報告に沿って平成24年度にその方針を決定します。

【息郷小学校 醒井小学校】 短期計画

整備方針	統合							
整備形態	両校を統合する（新校とするかは検討する）							
施 設	醒井小学校を使用する							
年 度	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
スケジュール		 検討 開始			 統合			

息郷小学校は今後全校児童数が100人を切る状況が続き、近い将来複式学級編制の懸念があります。また、醒井小学校も平成27年度まで徐々に児童数が減少することから、短期計画により両校を統合します。

【 柏原小学校 大原小学校 伊吹小学校 春照小学校 】

【 米原小学校 坂田小学校 息長小学校 】

整備方針	現状維持
------	------

- ・ 柏原小学校は今後児童数が徐々に減少し、平成25年度以降全校児童数が150人を下回るようになります。現状においては保育園から小中学校まで同一集団で過ごしており、いくつかの課題がありますが、柏原中学校の在り方を考える中でこの集団の課題改善に向けて検討することとし、柏原小学校においては現状維持とします。
- ・ 大原小学校は平成27年度には児童数が333人となりますが、当面基準とすべき児童数や学級数に達しています。
- ・ 伊吹小学校は今後全校児童が100人を下回る状況となりますが、東草野小学校との関係から当面現状維持とします。
- ・ 春照小学校は今後入学者が35人前後で推移していきますが、基準とすべき児童数を満たしています。
- ・ 米原小学校は今後児童数が徐々に減少しますが、学区の住環境により大きな変動も考えられることから当面現状維持とし、今後の児童数の推移を見ていくこととします。
- ・ 坂田小学校は駅周辺の住宅開発により、今後も人口増加が見込まれ、それに伴う児童数の増加に対応すべく校舎増築などの整備も考えていきます。
- ・ 息長小学校については、減少傾向にあるものの、基準とすべき児童数を満たしています。

(3) 中学校の計画

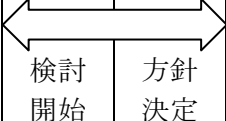
【柏原中学校 大東中学校】 短期計画

整備方針	統合							
整備形態	両校を統合する（新校とするかは検討する）							
施設	大東中学校を使用する							
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28以降
スケジュール		←					→	
		検討 開始					統合	

柏原中学校の生徒数は平成23年度以降100名を超えることがなく、各学年1クラスの状態が続きます。学校の活性化や部活動などの課題が生じてきていることから、こういった教育環境をより望ましい環境に改善する必要があります。「在り方検」では、大東中学校と

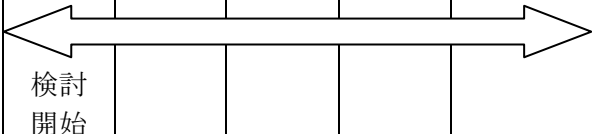
の統合を中・長期計画として取り組むこととされていますが、短期計画として統合に向けて取組みを進めます。

【東草野中学校】 短期計画

整備方針	継続検討							
年 度	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
スケジュール								

東草野中学校については、東草野小学校と同様、今回の整備計画策定にあたっては、平成24年度にその方針を決定します。統合する場合は伊吹山中学校と統合します。

【 河南中学校 米原中学校 】 中・長期計画

整備方針	継続検討							
年 度	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
スケジュール								

河南中学校は、平成29年度から生徒数が100人を切る状況が予測されます。このことをふまえ、中・長期的な計画として、米原中学校との統合について検討していきます。

【 伊吹山中学校 双葉中学校 】

整備方針	現状維持

- ・ 伊吹山中学校は、東草野中学校との関係から当面現状維持とします。
- ・ 双葉中学校は今後10年間、10～20人程度の生徒数の増減で推移します。今後とも適切な学校規模が継続することから、現状維持とします。

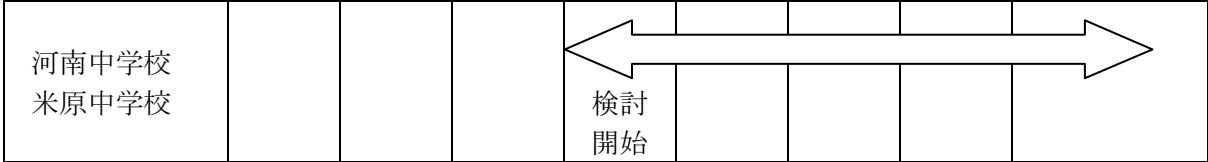
4. 整備にあたっての留意事項

- (1) 統合の時期や統合に伴う様々な課題について、保護者懇談会や地域懇談会、区長会やPTA連絡協議会等の場での意見や要望を大切にしながら、子どもたちが豊かな教育環境の下で、保育・教育を享受できるような整備に努めます。
- (2) 統合にあたっては、現に在籍する子どもたちが不利益を被らないように配慮します。
- (3) 今後の整備にあたっては、その内容や計画について、市民に対して広く周知・啓発に努め、実施に際して混乱が生じないように努めます。

- (4) 老朽化に伴う整備（修繕、改修）を必要とする施設については施設カルテに基づき、計画的な整備に努めます。
- (5) 統合に伴う学校（園）の登下校（園）について検討し、安全な通学方法に配慮します。

5. 整備等の全体スケジュール

年度 校 園	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8以降
息郷保育園 醒井幼稚園		← 検討開始 →				統合		
米原西保育園 米原中保育園			← 統合準備 →	← 統合 改築 検討 →				
米原保育園				← 検討開始 →				
近江にし保育園 近江ひがし保育園 ふたば幼稚園		← 検討開始 →				統合		
山東東小学校 山東西小学校		← 統合準備 →	統合					
東草野小学校 東草野中学校			← 検討開始 →	方針決定				
息郷小学校 醒井小学校		← 検討開始 →				統合		
柏原中学校 大東中学校		← 検討開始 →					統合	



《 資 料 》

1. 平成22年度 市内保育園・幼稚園の乳幼児数

(平成22年4月1日現在 単位:人)

園 名	0歳 児	1歳 児	2歳 児	3歳 児	4歳 児	5歳 児	合計	合計の内訳		定員
								市内園児	市外園児	
米原西保育園	1	2	5	2	3	0	13	12	1	60
米原中保育園	2	9	8	19	18	23	79	75	4	100
息郷保育園	1	5	3	8	5	15	37	37	0	60
近江にし保育園	0	5	10	21	15	19	70	70	0	70
近江ひがし保育園	1	10	10	19	13	9	62	60	2	70
米原保育園	2	5	6	9	5	6	33	24	9	45
柏原保育園	0	9	5	9	20	17	60	60	0	60
長岡保育園	2	15	10	22	18	23	90	84	6	90
大原保育園	5	9	16	21	39	32	122	118	4	130
醒井保育園	1	13	10	8	17	16	65	49	16	75
いぶき認定こども園				33	31	43	107	107	0	180
	1	6	11	8	11	12	49	49	0	45
山東幼稚園				36	44	51	131	131	0	245
ふたば幼稚園				50	65	62	177	177	0	240
米原幼稚園				30	33	18	81	81	0	120
醒井幼稚園				6	4	7	17	17	0	60
合 計	16	88	95	301	341	353	1,193	1,151	42	
市内施設への入園児	16	80	83	291	335	346	1,151			
市外施設への入園児	2	10	5	5	14	5	41			
施設入園児(総数)	18	90	88	296	349	351	1,192			
市内全乳幼児数	342	352	312	332	353	354	2,045			

2. 小・中学校児童生徒数の推移

(平成22年5月1日現在 単位：人)

年度 学 校	H22	H23	H24	H25	H26	H27
柏原小学校	161	161	164	148	135	135
山東東小学校	64					
山東西小学校	123					
山東小学校		183	173	171	157	150
大原小学校	447	429	433	401	360	333
東草野小学校	5	5	3	2	3	3
伊吹小学校	102	102	97	86	86	77
春照小学校	250	238	232	217	211	199
米原小学校	404	378	370	359	350	351
息郷小学校	95	90	83	84	67	70
醒井小学校	123	111	111	103	90	86
坂田小学校	478	479	470	475	475	478
息長小学校	248	235	228	216	203	191
計	2500	2411	2364	2262	2137	2073
増減 (H22基準)	0	-89	-136	-238	-363	-427
柏原中学校	99	101	87	86	89	91
大東中学校	351	345	331	327	333	333
東草野中学校	7	6	8	5	5	1
伊吹山中学校	162	186	182	189	178	183
米原中学校	213	226	216	212	208	202
河南中学校	138	142	122	106	103	110
双葉中学校	365	346	352	354	367	362
計	1335	1352	1298	1279	1283	1282
増減 (H22基準)	0	+17	-37	-56	-52	-53

3. 公立保育園、幼稚園、小・中学校の施設の設置状況 (平成22年現在)

校 園 名	建 築 年	築経過年数
米原西保育園	平成 9年	13年
米原中保育園	昭和51年	34年
息郷保育園	昭和52年	33年
近江にし保育園	平成 3年	19年
近江ひがし保育園	平成 2年	20年
米原保育園	昭和63年	22年
いぶき認定こども園	平成 7年	15年
山東幼稚園	平成15年	7年
ふたば幼稚園	昭和62年	23年
米原幼稚園	平成15年	7年
醒井幼稚園	昭和54年	31年
柏原小学校	平成 元年	21年
山東東小学校	昭和54年	31年
山東西小学校	平成 7年	15年
大原小学校	平成16年	6年
東草野小学校	昭和61年	24年
伊吹小学校	昭和51年	34年
春照小学校	昭和48年	37年
米原小学校	昭和61年	24年
息郷小学校	昭和57年	28年
醒井小学校	平成18年	4年
坂田小学校	昭和53年	32年
息長小学校	昭和51年	34年
柏原中学校	昭和57年	28年
大東中学校	昭和59年	26年
東草野中学校	昭和61年	24年
伊吹山中学校	昭和47年	38年
米原中学校	平成 8年	14年
河南中学校	平成 6年	16年
双葉中学校	昭和48年	37年

